

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「相互交流を通してパチンコ・パチスロ依存問題を持つ方々へ現実的な回復支援を行う」事業

コーヒーの収穫から加工・販売までを通じ、社会参加による依存問題の解決に尽力

沖縄県で月に約100キロのコーヒー生豆を焙煎し、商品にしたり、カフェで提供している就労支援事業所がある。利用者の多くは依存問題を抱えたり、障がいを抱えたりしているが、日々同じような作業をしていると、つい単調になりがち。そこでモチベーションを維持し、有意義に仕事をしてもらおうと、事業所では相互交流や講演会を実施した。



コーヒー農園への視察と研修を実施



コーヒー栽培や焙煎、袋詰めなどを通じその人らしい働き方の提案を前提に活動

沖縄県宜野湾市にある一般社団法人むら「ワーカーズホーム」は、2013年4月に沖縄県から就労継続支援B型事業所の指定を受け、「ワーカーズホーム」を運営している。開設当初から、ギャンブルをはじめ、アルコール、薬物などの依存問題を抱えた方々が多く利用しているが、運営にあたっては利用者に価値観やルールを押し付けるのではなく、一人ひとりに合わせた形で、その人らしく働き続けられることに重点を置いた個別支援を前提としている。

事業所では利用者と約200坪の農園でコーヒーの木を100本ほど栽培しているが、その本数だけでは少量しかコーヒー豆を収穫できないため、現在は業者から生豆を購入し、いい豆、悪い豆を1粒ずつ手作業で選別し、丁寧に焙煎し、袋詰めして販売している。こうした作業を通して、同法人

では事業所利用者が地域社会で役割と居場所を確保できるよう支援するとともに、日々の悩みごとなどの相談にも応じ、利用者が安心して通所できる環境を整えている。

2019年度には、AJOSCの助成を活用して市内に「ワーカーズホームカフェ」を開店。2020年度には、POSCの助成で夜間の居場所としてのシェアハウスを確保することができた。また、2021年度にはPOSCの助成でコーヒー農園を拡充するとともに、カフェ店内に本格的なガス焙煎機を導入した。さらに2022年度には、収穫したコーヒー豆を使って魅力ある商品開発を行った。次のステップとして、2023年度にはPOSCと沖縄県パチンコ・スロット協同組合の助成を活用し、コーヒーに対する知見を広め、販路の拡大につながる視察事業などを実施した。

東京や三重にある事業所の視察やコーヒー農園での研修で自信を深める

まず、相互交流として、2023年9月に東京でカフェを運営している就労継続支援B型事業所へ利用者5名、支援員3名で視察を行った。また、2024年2月には三重県で弁当を作っている就労継続支援B型事業所へ利用者3名、支援員1名で視察を行った。東京の視察では、積極的に作業を見学したメンバーが、沖縄に戻ってから自分たちの作業と比較して、作業効率の改善につながる工夫などをこらすようになった。

2023年5月には、沖縄県北部にあるコーヒー農園を利用者15名、支援員6名で視察し、研修を行った。農園を見学したあと、農場主の方への質問の時間があがり、日頃あまり発言しない利用者が目を輝かせて質問をしている姿が印象的だった。また、生豆の選別など、自分たちが日頃行っている作業と同じものがあり、自分たちの作業の確かさに自信を深めた様子だった。

また、2023年6月には、沖縄県北中城にある重要文化

財の中村家住宅の敷地内で10周年記念イベントを行い、利用者17名、支援員6名が参加したほか、県外より2名、県内より1名の講師を招いて行った講演会には、オンラインを含め、県内外から200名のお客様が参加した。

事業所の利用者は沖縄県外に行ったことがない人が多いため、東京と三重の事業所への視察は移動だけでも大変だったが、参加者の自信につながっている。また、県外へ研修に行けなかったメンバーも、講演会で県外から来てくださった講師との交流を通して、自分たちが行っている仕事の内容を再認識できた。同法人では、今後もパチンコ・パチスロの依存問題を持つ方々へ就労の機会を提供することを通じ、社会参加を促していくことにしている。

沖縄県パチンコ・スロット協同組合より

依存からの回復には、就労や社会参加が欠かせません。コーヒーの栽培や販売を通して地道に支援を継続している事業所を少しでもお手伝いできればと思っています。



10周年記念イベントを告知するチラシ



10周年記念イベントの一環として開催した講習会には多くの方が参加した

助成団体: 一般社団法人 むら ワーカーズホーム

<http://www.muraokinawa.org>



助成によって、カフェとして充実した活動を展開することが可能に!

複数年にわたる助成のおかげで、カフェや機材の充実、夜間の居場所確保や売上向上、そして2023年度は各所への研修、視察を通して自分たちの作業を客観的に眺めることで自信を深め、ますますカフェとして充実した活動を送ることができています。今後もパチンコ・パチスロ依存の問題を抱えた方々へ就労の場を提供していきたいと思えます。

一般社団法人 むら ワーカーズホーム
代表理事 横山 順一さん